

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

五月十一日
易六

青工百景

五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

皇月十三日

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

12

六月二十日

六月二十一日

六月二十二日

六月二十三日

早朝、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

今夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

二、三、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

三、四、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

四、五、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

五、六、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

六、七、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

七、八、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

八、九、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

九、十、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十、十一、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十一、十二、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十二、十三、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十三、十四、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十四、十五、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十五、十六、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十六、十七、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十七、十八、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十八、十九、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

十九、二十、夜、右衛門尉、中川、上兵、戦死、又、

52

六月二十日

六月二十一日

六月二十二日

六月二十三日

六月二十四日

特務班長於... 早朝右橋... 今夜右橋... 二日... 三日... 四日... 五日... 六日... 七日... 八日... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日...

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

52

晴

晴

七月廿六

七月廿七

七月廿八

七月廿九

七月三十

八月一日

八月二日

一、新海軍中尉... 二、三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

67

27

七月一日

晴

七月二日

晴

七月三日

七月四日

七月五日

七月六日

七月七日

七月八日

七月九日

一四三 改河成運 疑正誤
 一四四 改河成運 疑正誤
 一四五 改河成運 疑正誤
 一四六 改河成運 疑正誤
 一四七 改河成運 疑正誤
 一四八 改河成運 疑正誤
 一四九 改河成運 疑正誤
 一五〇 改河成運 疑正誤
 一五一 改河成運 疑正誤
 一五二 改河成運 疑正誤
 一五三 改河成運 疑正誤
 一五四 改河成運 疑正誤
 一五五 改河成運 疑正誤
 一五六 改河成運 疑正誤
 一五七 改河成運 疑正誤
 一五八 改河成運 疑正誤
 一五九 改河成運 疑正誤
 一六〇 改河成運 疑正誤
 一六一 改河成運 疑正誤
 一六二 改河成運 疑正誤
 一六三 改河成運 疑正誤
 一六四 改河成運 疑正誤
 一六五 改河成運 疑正誤
 一六六 改河成運 疑正誤
 一六七 改河成運 疑正誤
 一六八 改河成運 疑正誤
 一六九 改河成運 疑正誤
 一七〇 改河成運 疑正誤
 一七一 改河成運 疑正誤
 一七二 改河成運 疑正誤
 一七三 改河成運 疑正誤
 一七四 改河成運 疑正誤
 一七五 改河成運 疑正誤
 一七六 改河成運 疑正誤
 一七七 改河成運 疑正誤
 一七八 改河成運 疑正誤
 一七九 改河成運 疑正誤
 一八〇 改河成運 疑正誤
 一八一 改河成運 疑正誤
 一八二 改河成運 疑正誤
 一八三 改河成運 疑正誤
 一八四 改河成運 疑正誤
 一八五 改河成運 疑正誤
 一八六 改河成運 疑正誤
 一八七 改河成運 疑正誤
 一八八 改河成運 疑正誤
 一八九 改河成運 疑正誤
 一九〇 改河成運 疑正誤
 一九一 改河成運 疑正誤
 一九二 改河成運 疑正誤
 一九三 改河成運 疑正誤
 一九四 改河成運 疑正誤
 一九五 改河成運 疑正誤
 一九六 改河成運 疑正誤
 一九七 改河成運 疑正誤
 一九八 改河成運 疑正誤
 一九九 改河成運 疑正誤
 二〇〇 改河成運 疑正誤

八月十九日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

八月三十日

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...

七月廿九日

八月三日

八月三日

八月四日

八月五日

八月六日

八月九日

八月十日

一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

武藏兵二名。名上清人
 一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

武藏兵二名。名上清人
 一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

武藏兵二名。名上清人
 一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

武藏兵二名。名上清人
 一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

武藏兵二名。名上清人
 一。本行形勝下其岸上為大湖
 一。知念步射以下五名本部將士
 一。理壽式三春列又

25

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

日十一

○七三。新海命令。其。火網。給。以。...

カ乙

抑む日本に危機也。五十年來の山河を復持し、昭和五年八月熱血の健兒等水軍皆名の地瀨戸内海は小笠原に集りて海上敵艦を戦隊を編成し短期間なり。一、難も内海に於りて連日連夜の訓練功成りて其演習の映画日遂に天覽に供す行とる考人の先業は物のまに過らん

訓練の概成りて直に懐りの字を待て敵艦の出没する魔の海を一路南西諸島に向ふ故を去るに照し上旨に内親に伺を語りて又その存する限り敵一兵と難も上陸せしめり。と豪語せし九月下旬慶良間列島日渡嘉敷島に於て愈々土と海に對して戦は開始せしなり。連日連夜の洞窟作業の南海は言へば寒風肌を刺す星潮の舟艇訓練唯々日とわらわら少將校も只も特務村氏と九と有りて點々と暮らさるるに歸(り)りて特(務)に古き青年團の協力法(を)す。物ありき

此島硫黄島の戦局望迫の度に加(我)の南西諸島にも次雲湧ひ只むらた空を急ぐ感(を)ありたり。然れども作業は天下進務一海上戦斗の諸準備に完成し今又水陸陣地の構築等々物々ありたり。五月は二十三日カ十一船相团长不所大儀の系島を待機し、一軍民一併となりて糧食を専念しありたり。折しも可成り頃敵機のダモン飛来ありて見たり

直に續き銃爆を耳をロウリ 氏家口が能く深き山日忽に火が響きたる物量
 と驚き敵の口言が乍ら一時茫然とす。この間にありし射撃射撃は將多諸將の
 砲撃の仕度(附)の神且の導引りき其陽遠の島に落ちんとす頃敵機は遠く
 脱去し敵の後の静寂の中、周囲の島々も亦と燃え響き火の中に在りし
 壯觀算台は絶し、亦依然限り、明らに日暮も前日は倍し、その音は艦艇
 を中隊の愈々事態の急なるを察し、部隊將又一團、只々陰忍腕を撫し、
 去雲の機を窺わく、周囲の島々頃敵機は脱去し、艦艇も列島の周囲を警戒
 し、部隊は出雲の海(約五分の一)舟楫を注水す。この船舶同長より舟に阿
 嘉島より来島、軍命令至、回長は意固により、途中の敵を要破し、本
 島の轉進し、本島に於て海上作戦を行わしめり。前日於て部隊は勇躍注水
 出雲の作業を開始し、舟にも阿波連に於ては敵艦湾内に進み、注水作業を始末
 し、舟楫に引込み、遂に作業不能に陥り、島中其基地に於ては敵砲彈下銃意作業を
 續行す、訓練不足の早島出身軍夫のこころ如何せん、作業進捗も、金舟楫
 の注水を終了せしむるは、このころ、東天日と明り、嗚呼、如何せん、日晝

15

兵隊は依り必死の將又の奮斗ありし敵度ありしと書過す 即賜の陣軍を以て

口呼ぶの如きも終り唯々死に求むる神々の前には敵の攻害敢て出さざる

敵陣も此處より攻害容易なるよりてか攻害を断念し 五五日夜戦軍數千船

砲の掩護ありし撤退せし時敵情不明にして此の機に専ら一打要害を二得たりしと道徳

こゝにこそ敵は一踏敵の深き敗息あり撤退せしも度良同海峽に敵の敵艦船砲向し

唯我艦隊は在空あり不鳥も既に敵上陸し彼我の間は是より喫着を結したる激戦展開し

多精攻機各日の如く飛来あり 多ク多クある軍のハ戦果を報進し 絶海の孤島に敵の負

只中に取られ残されたる部隊の志士も数着すは空に鐵攻機を多ク多ク報道のありし 五月

末敵撤退後吾人はほろを存すや一書にいて吾人が全せんが為と戦のためは戦なりし 孤島に

補給途絶し然し敵上陸のため多からざりし種類の不却も敵のため援却せられたりし

却隊は一日ハ多ク相一杯のありし度々の敵の上陸を警戒しつゝ、現地自衛を始めたりし

而して陣地の構築をとりつゝなりし 然りと雖も始めの間は糧食にて思ひは盡すなりし 五年

あり概あり者若ありし少量の米も賣りて力を保持し 多精神の要ありし 陣

地の平に撤成せしは五月十日に敵の深き敗息掃蕩し 念固き為なりし 敵上陸せしや

方面の中心は、この通り、蘇俄の精製之も、人数が総て、この通り、ホの驚くべきこと、
 権の官軍、と云う、地言は、この通り、總て、食す、將兵は、度々、おとす、八月、
 市の日、武裝と、起す、備、名、約、平、致、り、ま、精、に、戦、年、の、終、路、を、通、下、す、敵、名、の、養、
 矢、朝、より、一、戦、病、死、者、に、重、り、は、思、ひ、平、に、過、ご、一、人、情、の、美、し、ま、人、間、の、運、
 境、におきて、強、く、見、ら、う、一、は、復、び、は、陰、に、一、の、名、結、も、合、り、あ、り、食、一、部、下、は、夜、と、上、空、日、部、
 下、に、思、ひ、か、き、中、に、重、り、ま、人、情、と、奮、揮、一、同、結、は、益、々、軍、団、と、な、り、危、険、に、斬、り、行、
 きて、隊、長、殿、は、持、ち、歸、れ、る、煙、草、を、か、の、口、に、こ、こ、一、吸、一、よ、う、ぞ、唯、一、部、下、の、情、は、泣、泣、あ、る、
 の、み、り、ま、平、に、致、す、一、部、隊、精、兵、一、同、全、死、と、起、越、一、只、々、ほ、ろ、志、の、ため、ま、に、涙、を、流、す、敵、の、
 土、に、お、ら、ん、と、誓、ひ、し、て、
 かく、書、き、ま、る、ま、は、敵、の、行、動、不、明、な、り、も、彼、我、各、一、隔、々、相、対、峙、
 一、畫、同、の、地、の、戦、場、に、も、見、え、ら、れ、ぬ、銃、砲、聲、は、合、戦、の、指、戦、場、の、り、ま、他、に、波、を、敵、部、隊、
 配、多、の、砲、艦、の、ま、故、事、に、同、味、防、衛、の、意、射、砲、を、協、力、一、槍、も、の、地、の、場、に、射、け、り、
 大、敵、と、打、つ、た、り、と、想、像、に、絶、了、の、物、り、一、幸、ひ、に、ま、陣、地、附、近、は、
 未、破、害、輕、少、り、一、も、前、進、陣、地、附、近、は、森、林、も、以、能、が、彼、我、の、同、に、敵、兵、の、多、く、
 戦、場、地、を、な、り、一、勿、論、軍、団、日、夜、奮、に、依、り、し、り、一、かく、一、戦、年、の、終、路、を、

81

通下至陣地に敵の内通者は有敵カ上陸セテ攻メケリシ他日軍は前進陣地於テ
 總て阻止セリテハ何故モヤ只カカリヤ否敵は意に敷信テ了戦カリテ又否
 敵は準備日船通トシテ到底問題に在リ天陸を利用シテ構築セテ陸軍同
 時陣地に依テ了而シテ無キ怖れテ否否前日は是日成功望ミキ可レハカリ
 今に之の思ハル夫陸軍は通進セリ程精下退軍困る陣地は完成者日軍は天陸軍
 助トモ言由一即チ天陸軍は助トモ言由一即チ下進セリ新に奮戦を續ケテ
 天陸軍は力不息の作戦を遂ゲ居ルモ七月二日大不意奇襲に不意を碎ク
 報に因テ噴奇襲一戦報に不意奇襲に不意を碎ク一戦悲観の中兵
 議論給テ了互に敵陣地は放棄一全員を碎ク一戦は陣地を據テ一不意奇襲
 敵を碎ク一即チ即後日復者一軍司令官以下の不意奇襲は積極的なる防禦戦
 也矣極也

一又海上作戦は如何シヤ今全断念セズ然レ陣地の完成後ラリ舟ニテ敵艦船
 以テ是の遠法準備を爲シ一敵の目を遠シテ日刺突を重クシテ然レ如何モ不意奇襲にシテ
 舟は陸軍セキ事無ドモ否に決行シセテ中潮流軍ニ為テ夫敵は終リ

41

東江雲の概と云ふは敵の探知する所なり。各海岸の警戒甚だ厳重なる事
極り蓋し新念の金儀は云々

平島と碑後波系船の敵軍力増強一以事と念固く之を要退し敵の軍備を
極り備候意總は雲の集降を以てありたり

八月十五日 陽一 固守す 不命なり 戦事終結の報並あり 勝つる能はず 計
知りて 火膳の如くを如無降降降は 部隊精只難くも之を信ずる者少
却保の甚し難後事 頑強し 事つた遊嘉敷七心の村民もあ然り 雲の情報

と云ふ事 直降し 不命に命を不命に死すは 軍への不領なり 浪のこゝ敵陣
に降す 固く 日本に難事と計す 234 島地は 射し敵軍の 火を云々 固く

后達降す 君の代の 喇以 清の 雲を 清り 唯 武概 雲量 百の敵と
も 掃北の 雲も 泣く 事なり

鳴呼 雲の 如く 日本に 敵軍 敗固く 深し 者なり 事なり 一戦 平の 経験
は 固く 日本に 其の 雲 下す 事なり 名の 務なり あり

新

○九月候補生 忍ヶ原岡の名人なり 而して一隊を率ひて 山ありて中隊を率ひて 其處を治む
 深然として陣地を去る海に跳びて敵河同無心 狂態となり 敵陣に入り 幕舎より揚子と稱す
 山ありて敵軍を陣地に導き 敵軍の陣地を奪見せしむるなり 其處を治む 山ありて
 新田王批洋と云ふ 彼は漢軍より其後無業なり
 ○餘り少尉 却隊の花巧技者なり 新田は編成出来ず 敵陣に潛りて 敵軍の陣地を奪見せしむるなり
 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり
 土着を引下りて 山ありて 人皆彼を慕ひ ありて 花ありて 土着を引下りて 山ありて
 幕舎より 彼は新田の陣地を奪見せしむるなり 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり
 ○新田王批洋と云ふ 彼は漢軍より其後無業なり
 ○谷野任長 新田は新田にて 陣地を奪見せしむるなり 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり
 陣地にて 陣地を奪見せしむるなり 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり
 九月十日の頃 陣地を奪見せしむるなり 其處より敵軍の陣地を奪見せしむるなり

91

顔面血は、まやれ軍刀の手は、踵行、はから、端、隊長殿、又、まやれ、は、
あ、不、目、の、あ、り、に、ホ、ウ、ラ、ナ、リ

食糧難

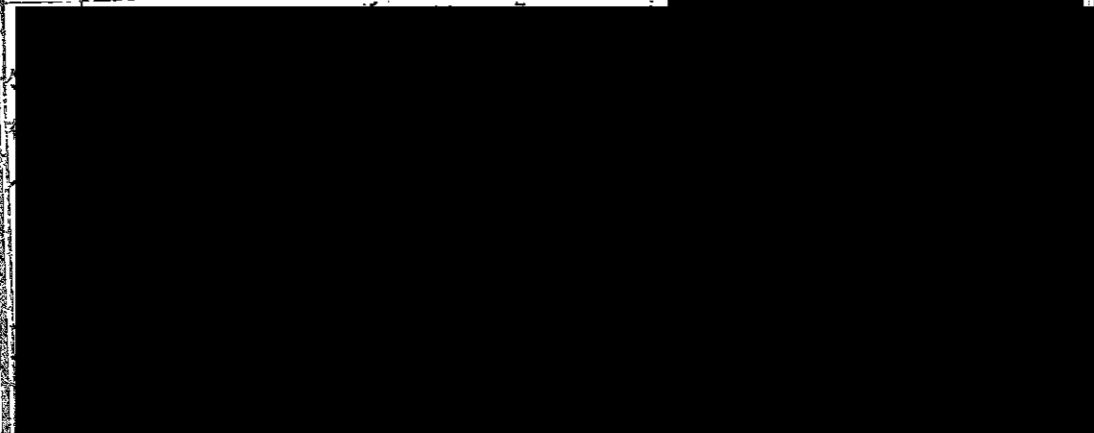
・甘、唐、手、持、沖、繩、人、の、軍、中、食、糧、を、見、て、一、種、驚、異、に、思、は、れ、た、感、を、持、つ、た、り、然、し、一、度、戦、場、に、
行、く、に、な、り、し、物、を、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
唯、戦、場、に、行、く、に、な、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、蘇、鉄、の、
思、ひ、あ、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
苦、し、い、と、思、は、れ、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
村、長、の、精、製、し、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
と、合、道、の、腹、を、満、す、に、込、ら、ず、各、隊、目、治、理、と、理、解、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
は、い、ち、つ、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
お、し、ま、さ、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、
用、意、以、来、善、道、の、飯、を、と、更、に、は、い、ち、つ、た、り、し、り、た、り、し、り、
唯、本、の、葉、は、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、た、り、し、り、

卷之三

易曰：君子居则觀其象而玩其辭，動則觀其象而玩其辭。自天祐之，自不可及。

13

高藤 誠	高藤 悟	村田 政信	藤井 満夫	内山 真一	谷本 富三郎	高田 茂雄	池田 満全	佐久間 定三	樋口 梅雄	佐藤 宗三郎	浅野 一夫	百井 子之吉	末村 幸雄
町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三



大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八	大田 六八
町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三	町三

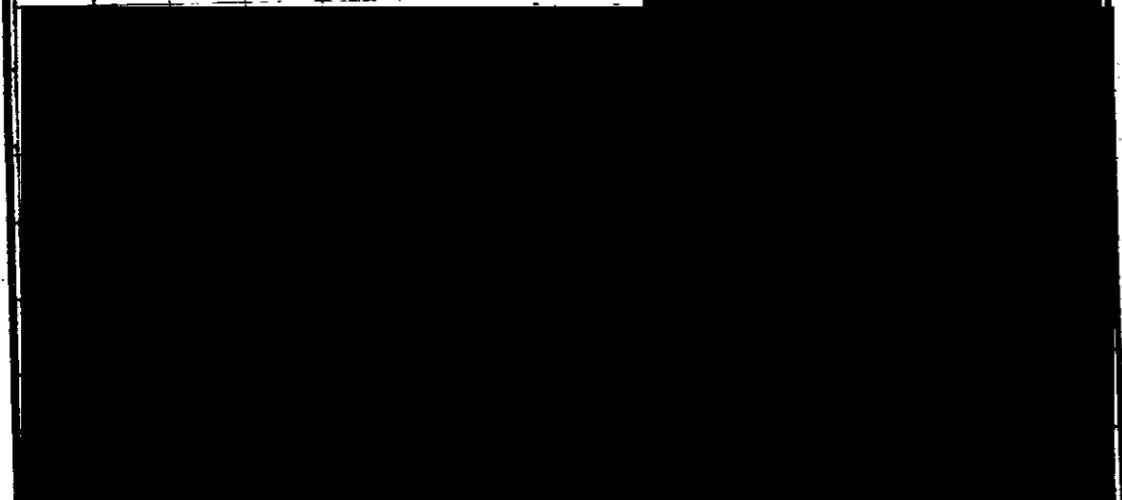
12

米山 穂	鈴木 友一郎	山本 一男	小野 正義	田原 正視	連 下政市	富野 穂	安部 周一	田村 綱雄	平田 卓	榊山 祐夫	藤原 清人	金澤 忠	藤原 次郎
昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五

大正三十四	大正三十三	大正三十二	大正三十一	大正三十	大正二十九	大正二十八	大正二十七	大正二十六	大正二十五	大正二十四	大正二十三	大正二十二	大正二十一

11

浮田 抄	菅野 博一	五十嵐 金造	大田 和夫	橋本 直	宇采 美治	新保 盛市	池田 國雄	三高 吉秀	中本 詔一郎	田中 國一	高橋 清三	藤田 正治
昭五	昭一九	昭一九	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五

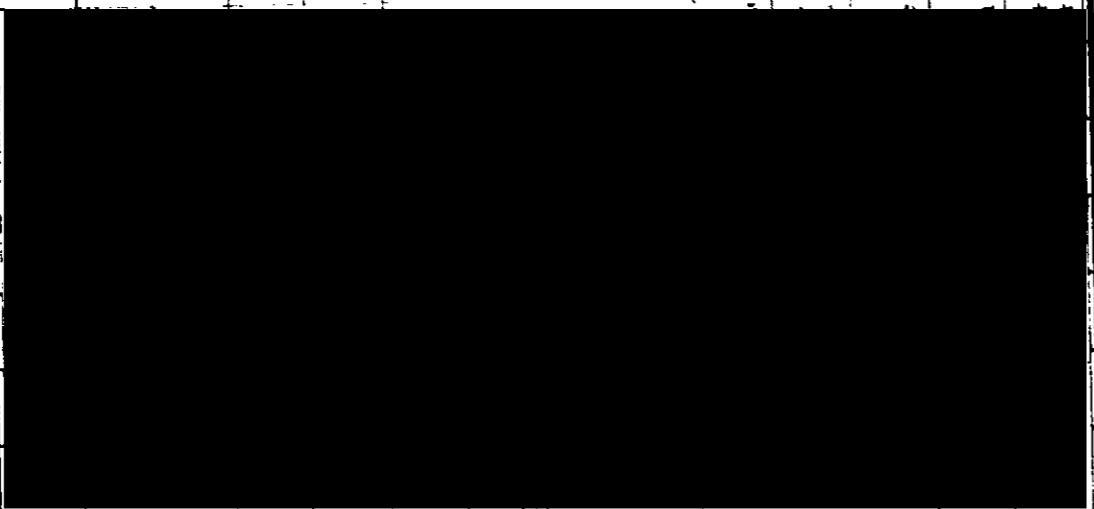


大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九	大二三九

01

4
七九

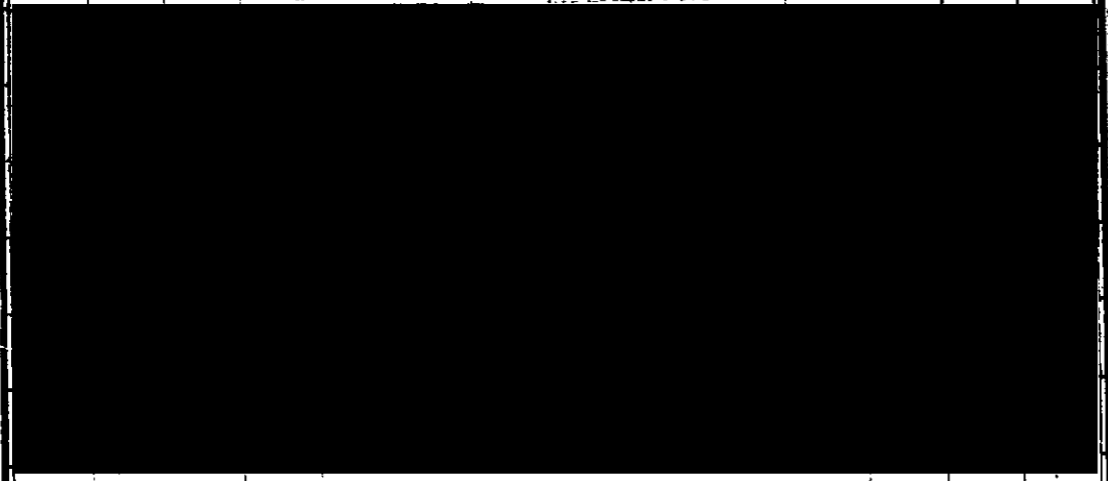
櫻田 中一	池田 文三	赤山 鶴野	川崎 弘	大木 運男	杉 沼 貞三	八木 清志	吉原 尾 勉	菅木 實	佐長 今井 守正	池田 恒哉	菅布 義博	佐条 金吾	通 龍 光明
昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五



大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九	大正一十九

6

九子	由甲	高以	竹本	野田	田中	久野	小高	山	山	山
敏	龍	言	本	得	和	言	龍	山	山	山
治	一	政	郁	春	一	夫	治	明	明	明
治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治



大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

8

5

九十	田中	高野	竹高	杉本	野崎	田中	久野	小高	戸改	象山
無	龍	只	高	本	崎	如	高	龍	官	山
治		巳	識	有	香	一	夫	治	見	明
三		辰		三	川	地	天	治	見	明



九十	田中	高野	竹高	杉本	野崎	田中	久野	小高	戸改	象山
無	龍	只	高	本	崎	如	高	龍	官	山
治		巳	識	有	香	一	夫	治	見	明
三										

8

Table with 11 columns and 2 rows of handwritten entries.

Handwritten vertical text on the right side of the table, possibly a title or a list of items.



Table with 11 columns and 10 rows, containing handwritten entries in the top row and empty cells below.

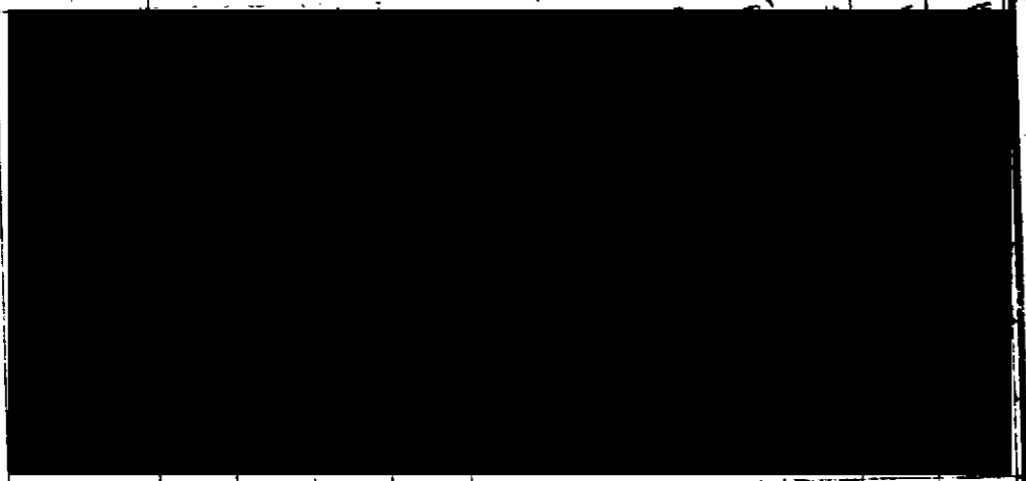
A handwritten mark or character on the right side of the page.

高谷雪史	赤木正義	多里五郎	鈴木一介	松打野夫	八木喜一	高木直太	世吉牧	本岡年九	任世 横山小一	佐藤 博美	高 源	大 久
二五	四五	四二	四二	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三

舟三海上飛進戰隊中事坂末久

做享年 在本籍 役任所 留身換 二二五 五二

石香 清	大坂 三崎	京口 宗教	桃城 昇	久保 翠秋	住吉 木村 文雄	小杉 三郎	中島 一平	高橋 廣洋	佐田 五右	佐田 五右	佐田 五右
昭五	昭五	昭二	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五



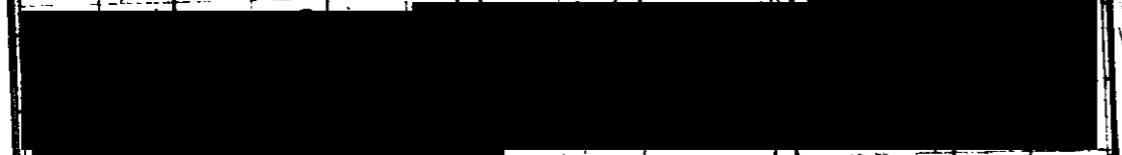
大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三	大正 三三三
昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五	昭五

姓名	生年	生月	生日	生時	生處	死年	死月	死日	死時	死處	葬年	葬月	葬日	葬時	葬處
王古	己	未	初十	子	上海										
李古	己	未	初十	子	上海										
王古	己	未	初十	子	上海										
王古	己	未	初十	子	上海										
王古	己	未	初十	子	上海										

上海上提在戰隊死之者連名公簿

5

少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少
少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少
	火		高		赤		多		舒		半			
	松		谷		木		里		水		用			
	三		大		美		五		二		丸			
	丁		大		美		部		部					



今	今	今	今	今	今	今	今	今	今	今	今	今	今	今
父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父	父
彌	方	高	赤	多	舒	水	半							
平	接	谷	木	里	水	用								
20. 4. 17	20. 8. 14	20. 6. 24	20. 6. 17	20. 6. 11	20. 6. 17	20. 7. 23								
30	30	30	30	30	30	30								
揚	地	地	正	不	区	地								
五	神	高	和	加	王	区								
古	高	高	高	高	高	高								
古	古	古	古	古	古	古								

力

19

姓名	地位	姓名	地位	姓名	地位	姓名	地位	姓名	地位	姓名	地位	姓名	地位
佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時	佐藤 仁也	合上 欠 町時
	20.6.24		20.8.10		20.8.17		20.9.20		20.6.30		20.6.24		20.6.15
	30 町		30 町		30 町		30 町		30 町		30 町		30 町
	地 宮 A		地 宮 町		地 宮 町		地 宮 町		地 宮 町		地 宮 町		地 宮 町

3

2

生記不明者見後

赤二區候取

年	月	日	事	所	由
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區
天保	六	一	赤二區	赤二區	赤二區

生死不明者及...

年... 國... 領... 照...

姓名	性别	籍貫	職別	年次
[Redacted]				
...
...
...
...
...
...

內地遷徙者名簿

在籍

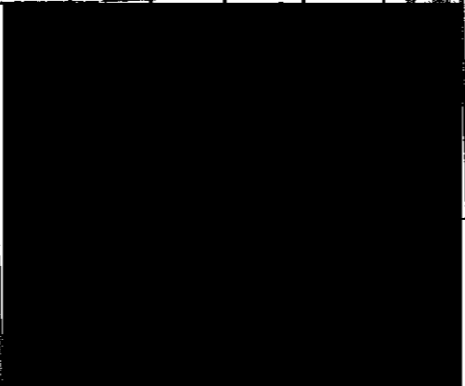
就任所

備考

梅田 幸十

梅田 幸十

梅田 幸十



梅田 幸十

梅田 幸十

梅田 幸十

昭和十九年 月 日 所屬 姓名 住居地 備考
 梅田 幸十 大阪府 大阪市 住居地 備考
 梅田 幸十 大阪府 大阪市 住居地 備考
 梅田 幸十 大阪府 大阪市 住居地 備考

所記遷送者名簿

氏名

政信所

年月日

遷送者

氏名

政信所



氏名

政信所

年月日

氏名

政信所

年月日

氏名

政信所

年月日

氏名

政信所

年月日

氏名 政信所 年月日
[Handwritten text in vertical columns]

氏名 政信所 年月日
[Handwritten text in vertical columns]

氏名 政信所 年月日
[Handwritten text in vertical columns]

心

住長	住長	住長	住長	住長	少尉	少尉	住長	住長	少尉	少尉	少尉	住長
久保 望敏 廣壽	木村 文雄 山口	赤井 正美 善吉	高谷 勇夫 連三	佐藤 仁正	多田 五郎 山口	鈴木 原一 山政	老古 敏 三吉	本間 金九 慶高	横山 小一 敏田 大久	佐藤 博孝 敏海 道	高取 徹男 敏吉	住長
												住長
住長	少尉	住長	住長		住長	住長	少尉	住長	住長	住長	住長	住長
本本 節三	池田 恒茂	山根 文雄	佐木 金五		大田 和夫	結城 元行	南 一夫	金澤 忠一	中野 周 一	池田 文三	村田 敏信	住長
												住長

遺骨清考者九行

遺骨清考者

系之屬階

											任 桃 坂 早	任 平 口 常 親	任 犬 塚 早 十 雄	任 石 倉 清 大 郎	任 高 橋 厚 次 明 山	任 小 林 貞 三 平 助 木
											任 揮 山 祐 夫	任 山 谷 山 右 衛 門	任 久 保 音 次	任 中 本 清 一 郎	任 久 保 忠 久 次	

戰時死者調書

昭和十七年七月九日

記

本籍地

東京海上船務株式會社

高取徹司 大正十二年一月一日

所屬部隊

不詳

女高田英香

死年月日

昭和二十年六月十三日

身死

場所

沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

軍(務)本

在野島及那波島

死因

昭和十九年七月十日 沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

備考

昭和十九年七月十日 沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

備考

昭和十九年七月十日 沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

備考

昭和十九年七月十日 沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

昭和十九年七月十日 沖繩野島及那波島打打大島嶺部陣地

八

七

六

五

四

三

二

一

年月日時	場所	事項(概況)
昭和三年七月十日	冲縄特高及那覇市立町	...
原(長)文	右ノ上ノ...	...
...
...
...

	一 第三海上挺進戰隊第一中隊	二 予備隊 昭和十七年海軍 陸軍少尉	三 佐藤 博三 少尉 大正十一年七月十日	四 佐藤 紀一 戦死	五 昭和二十一年三月二十七日三十一等	六 中隊司令官 佐藤 紀一 大尉 中隊員 佐藤 博三 少尉 中隊員 佐藤 紀一 少尉	七 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一	八 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一	九 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一	十 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一	十一 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一	十二 昭和二十一年一月十日 陸軍少尉 佐藤 紀一 引継手 佐藤 紀一
--	-------------------	--------------------------	----------------------------	------------------	-----------------------	---	--	--	--	--	---	---

八 昭和二十年三月二十一日

申張り官民共に努力を要する所を承り久し

左腹書（案）通鏡（全）

九

昭和二十年三月二十一日
 申張り官民共に努力を要する所を承り久し
 左腹書（案）通鏡（全）
 昭和二十年三月二十一日
 申張り官民共に努力を要する所を承り久し
 左腹書（案）通鏡（全）

二

三 年三海上 茂田 第一 甲 第一
 年三海上 茂田 第一 甲 第一
 年三海上 茂田 第一 甲 第一

人

年三海上 茂田 第一 甲 第一

年三海上 茂田 第一 甲 第一

年三海上 茂田 第一 甲 第一